

2024年度JKA補助事業 振興事業(機械)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限： 2026年6月30日(火)

・提出先： m2024hyoka@keirin-autorace.or.jp

≪JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について≫

- * 青字部分 は記入例です。記入の際、参考になしてください。
- * 水色箇所 が記入箇所となります。
- * 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

2024年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

【記入にあたっての注意点】

整理番号	2024M -	005	補助事業者名	(一社)〇〇〇協会	補助事業名	〇〇〇〇に関する調査研究事業
------	---------	-----	--------	-----------	-------	----------------

2024年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)

項番	1	総事業項目数	2	補助事業項目名	〇〇〇産業における〇〇〇〇に関する調査研究
----	---	--------	---	---------	-----------------------

作成日	2026	年	4	月	25	日	作成者	競輪 太郎
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

◆整理番号、補助事業者名(法人名)、補助事業名を記入してください。

◆事業項目が複数ある場合は、何項番目の事業かご記入ください。
例) 事業項目が2つあるうちのひとつめの事業の場合 → 項番:1、総事業項目数:2 となります。

◆事業項目数が複数ある場合は、項番それぞれの事業項目名を記入してください。

◆この自己評価書の作成日、作成者を記入してください。

1. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。

○採点基準については、2024年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』p27,28「自己評価スコアリングガイド」をご参照ください。

(2) 事業 内容	事業の 発展性	「〇〇〇〇」の手法や実施ガイドを含んだガイドラインを作成し、〇〇〇〇ができたことにより、〇〇〇産業だけでなく、〇〇〇、〇〇〇など様々な産業分野にも展開された。 また、今回作成したガイドラインの海外普及や本ガイドに基づいた国際規格・標準情報の提案につなげられるよう働きかけを行った。			採点
					4
(3) 達成 目標	事業の 成果・波及 ※自己評価1 回目から変化 があった場合 に記入してく ださい。	〔達成値〕	〔達成状況〕	〔具体的内容〕	採点
		5件	125%	1回目の自己評価時はガイドラインが完成して間もなかったため、ガイドラインの引用等がなかったが、一定期間が経過し、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇の分野などでガイドラインを引用、もしくは参考にされた件数が5件あった。	5

◆交付誓約書添付の事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。
採点欄については、スコアリングガイドを参照の上、採点してください。
(点数はプルダウンで選択できます)

◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。
!!注意!! ・【達成値】現時点での「実績値」を記入してください。
・【達成状況】のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(2／5)』3. 補助事業実施の必要性 (1)補助事業が最終的に目指すこと』の、現時点での達成状況をご記入ください。(過去年度から継続して実施している事業の場合は、それも踏まえてお書きください。)

〇〇〇、〇〇〇など様々な検討を行い〇〇〇の手法等を確立し、〇〇〇〇ガイドラインを初めて作成したことで、最終的に目指すこととしていた我が国における〇〇〇システムの構築能力の向上を図ることができた。
今後、より多くの分野にも展開され、さらに〇〇〇〇に寄与できるよう引き続き働きかけを行いたい。

◆交付誓約書添付の事前計画／自己評価書(2／5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

2. 当該事業について、メディア等で紹介された事例がございましたらお教えてください。

〇〇新聞(〇〇年〇月〇日)
※この事業に関連する〇〇〇について掲載された。

月刊〇〇〇(〇〇年〇月号)
※今回作成したガイドラインについて掲載された。

◆今回、補助事業として実施した事業について、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。
特になければ「特になし」と記入してください。

3. 今後、事業の継続や同様の活動を行う予定があればお聞かせください。

今回作成した〇〇〇〇のガイドラインと関わりのある△△△△についてのガイドライン作成のため、検討作業、手法の確立等を実施する予定。

◆今後、今回補助事業として実施した事業を継続する予定や、同様の活動を行う予定があればその内容を記入してください。

4. 事業分野を取巻く状況や課題をお聞かせください。
また、JKA以外で今回と同様な事業に対し、助成等を行っている補助団体についてご存知であればお教えてください。

産業分野では〇〇〇が問題となっており、ガイドラインを作成する際もそれを改善できるような実際に活用できる実用的なものが求められているため、より実用的なものを作成することが課題である。

JKA以外で今回と同様な事業に対し助成を行っている団体は〇〇〇財団。

◆今回実施した事業の問題や課題等を記入してください。
また、国の施策等による影響などがありましたら併せて記入してください。

◆補助を受けたことがある・ないに関わらず、今回と同様な事業に対し助成を行っている補助団体をご存知であれば、その団体名を記入してください。

5. 上記1～4の補足や、JKAに対するご要望等がございましたら、ご記入ください。

地道に行う活動が必要となるため、引き続きこのような事業に対しての補助を行ってほしい。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。